

社会科学習指導案

平成 19 年 10 月 29 日（月）5 校時
沖縄市立沖縄東中学校 1 年 2 組
男子 19 名、女子 21 名、計 40 名
授業者：石嶺 正樹

1、単元名 「第 2 章 古代国家と東アジア」

2、単元の目標

- (1) 歴史における文明は、それぞれの地域の気候や風土と密接にかかわりながら、多様に発生し展開していったことをとらえる。
- (2) 人類は長い狩猟・採集生活を経て、農耕・牧畜をはじめると、集団の中に貧富差や身分差が生じ、支配者が出現し、国家が形成されたことをとらえる。
- (3) 原始・古代の日本では、特に東アジアと深いかかわりをもちながら、農耕の拡大とともに生活が変化し、やがて国家が形成され、その後、天皇・貴族を中心とする政治や文化が展開していったことをとらえる。
- (4) 古代の日本では、中国文化の影響を受けた国家中心・天皇中心の文化が栄え、その後、貴族中心の国風文化が発達したことをとらえる。

3、教材について

(1) 教材

「律令制のもとでの人々の暮らし」

(2) 教材観

苦しい庶民の生活、裕福な貴族の生活など、その当時の世の中のしくみを理解させるためにも、できるだけ多くの資料（絵、写真、地図、グラフ）を視聴覚機器を利用して提示していきたい。また、生徒がその当時の庶民の立場に立てるように、思考を深めさせるような発問を増やしていきたい。

(3) 生徒観（生徒の実態）

【アンケート結果】

質問 1 社会が好きですか？

項目	好き	まあまあ好き	あまり好きじゃない	嫌い
% (人)	55 % (21 人)	31 % (12 人)	11 % (4 人)	3 % (1 人)

質問 2 地理と歴史どちらが好きか？

項目	地理	歴史
% (人)	21 % (8 人)	79 % (30 人)

質問 3 どのような授業が好きか？

項目	先生の説明中心の授業	調べ学習	グループ学習	写真や資料を取り入れた授業
% (人)	26 % (10 人)	21 % (8 人)	19 % (7 人)	34 % (13 人)

質問 4 小学校の時、奈良時代のことで習った項目は？

大仏	聖武天皇	貨幣の発行	鑑真
----	------	-------	----

以上のように、社会（特に歴史）を好きな生徒が多い。授業で積極的に発言する男子生徒が数名いるが、全体的に受身的な授業態度の生徒が多い。できるだけ生徒の興味関心を引く資料を精選し、生徒の思考を深める場をつくっていきたい。

(4) 指導観

戸籍をごまかしたり、村から逃亡するほど奈良時代の庶民の生活が苦しかったことを実感させたい。また、少数の貴族が裕福な暮らしができたのは、庶民の努力と苦しみがあったから成り立っていたことを知ってほしい。

4、指導計画

- (1) 日本列島にやってきた人類・・・1時間
- (2) 東アジアに大きな影響をあたえた中国文明・・・1時間
- (3) 世界の文明・・・1時間
- (4) 稲作による生活の変化・・・1時間
- (5) 「むら」がまとまり「くに」に・・・1時間
- (6) さかんになる朝鮮半島との交流・・・1時間
- (7) 東アジアのなかのヤマト王権・・・2時間
- (8) 中国にならった国づくり・・・1時間
- (9) 律令制のもとでの人々の暮らし・・・2時間（本時は前半の部分）

	授業の流れ	主な学習内容
1時間目(前半)	・なぜ逃亡する庶民が出てきたかを、資料を通して考察し、その当時の税制のしくみと庶民の暮らしを知る。	・班田収授法、戸籍、租調庸、防人、労役など
2時間目(後半)	・逃亡する庶民を農地にとどめておくために、朝廷がどのような対応をしたかを予想させ、その対応策を理解する。	・墾田永年私財法 ・まとめ

- (10) 権力をにぎった貴族たち・・・1時間
- (11) 天皇・貴族が発展させた文化・・・1時間

5、本時の授業 「2、律令制のもとでの人々の暮らし」

- (1) 本時の目標
 - ① 当時の農民の生活に関心をもち、律令政治と農村のかかわりについて意欲的に追求しようとする。【興味・関心】
 - ② 課題に対して、思考を深め、推理することができる。【思考・判断】
 - ③ 資料を読み取り、まとめたり、発表することができる。【技能・表現】
 - ④ 律令国家は、国家による農村と農民の掌握によって成り立っていたことがわかる。【知識・理解】
- (2) 授業仮説
 - ① ICT を利活用し、パワーポイントで資料を提示させることで、生徒の興味関心を高め、授業に集中させることができるだろう。
 - ② 生徒に疑問を持たせる資料を提示することで、生徒が積極的に課題に取り組み、授業内容を理解することにつながるだろう。
- (3) 観点別評価規準
 - ① 授業に臨む姿勢はできているか。【興味・関心】
 - ② 自分なりに課題に対して予想を立てることができたか。【思考・判断】
 - ③ 自分の考えをしっかりとめ（発表）することができたか。【技能・表現】
 - ④ 「律令制のもとでの人々の暮らし」について理解できたか。【知識・理解】
- (4) 準備する物
 - 教科書、ワークシート、一問一答（問題）、プロジェクター、スクリーン

(5) 展開

	学習内容	指導上の留意点	情報機器の活用	評価
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習 ・資料（田上村の年齢別人口表）を見て、「なぜ、男の人口が少ないか」予想させる。 ・戸籍の「逃」の字から、農民が逃亡したことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が長くならないよう注意する。 ・ここでは、正しい解答を求めるのではなく、できるだけ多くの考えを発表させる。 ・なるべく生徒から答えがでるようにヒントを与えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む姿勢はできているか。【関心・意欲】 ・自分なりに課題に対して予想を立てることができたか。【思考・判断】
展開 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚の絵（教科書 P34・35）を見て、当時の農民の負担を探させ、発表させる。 ・奈良時代の庶民の生活と税制のしくみの説明 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 班田収授法、口分田、租調庸 兵役（防人）、労役、戸籍など </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者には、スクリーンで指差しながら発表させる。 ・生徒の発表の講評をしながら当時の庶民の生活、税制、労役などを説明し、ワークシートに記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーン ・パワーポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをしっかりとめ（発表）することができたか。【技能・表現】
まとめ 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・今日のまとめを板書する。 ・貴族と庶民の気持ちを想像してセリフを考え発表させる ・自己評価、授業の感想を書かせ、発表させる。 ・次時の予告 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートがうまく解けない生徒へ個別指導を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業の内容を理解することができたか。【知識・理解】

(6) 評価

- ①奈良時代の税制と庶民の暮らしについて理解できたか。
- ②課題に対し、自分の考えをワークシートにまとめることができたか。

(7) ワークシート

2、律令制のもとでの人々の暮らし (P38～)

1年 組 番 氏名 _____

質問1 なぜ田上村の男子の人口は少ないのか？

答え

予想 ⇒ 答え

質問2 絵(教科書P34・35)を見て、農民が大変だったこと、気づいたことなどできるだけたくさん書き出せさい。

板書



質問3 貴族と庶民の気持ちを想像してセリフを書いてみよう！！

私の人生は…
であった

オラの人生は…
だったっぺ

☆自己評価☆ (○で囲む)

- ① 授業に興味を持って、参加することができたか？ A B C D
- ② 授業の内容を理解できたか？ A B C D
- ③ 自分の考えをまとめたり、発表することができたか A B C D

★授業の感想★ (授業で感じたこと、授業態度、理解できたかなど)

6、授業の反省

《成果》

- ICT 利活用が達成できた。
- 日頃は、資料集や教科書の資料を探すことで時間がかかってしまうがプロジェクターで資料を写すことで生徒が教科書から資料を探す時間も短縮され生徒の集中度も上がった。
- パワーポイントを有効に活用できていた。赤い○などの印で生徒の意識を集中させたい場所を見させることができた。
- 生徒全員がしっかりと課題に取り組んでいた。

《課題》

- 板書をした場面で、せっかくパワーポイントを活用しているのだから、スクリーンに板書に移していってもよかったのでは？
- 画像が見えにくいところなど、プロジェクターのズーム機能を使ったほうが、インパクトもあるし、生徒が見やすいのではないか？
- 説明が多くなる面もあり、生徒の発表の時間を多くとる必要もあった。

【授業後のアンケート結果】

① 授業に興味を持って、参加することができたか？

項目	とてもできた	できた	あまりできなかった	できなかった
% (人)	55 % (22人)	43 % (17人)	2 % (1人)	0 % (0人)

② 授業の内容を理解できたか？

項目	とてもできた	できた	あまりできなかった	できなかった
% (人)	73 % (29人)	20 % (8人)	2 % (1人)	5 % (2人)

③ 自分の考えをまとめたり、発表することができたか？

項目	とてもできた	できた	あまりできなかった	できなかった
% (人)	15 % (6人)	13 % (5人)	45 % (18人)	27 % (11人)